

令和4年(ネ)第1675号 損害賠償請求控訴事件

控訴人 控訴人1ほか5名

被控訴人 国

証拠説明書

令和5年3月28日

大阪高等裁判所第14民事部B3係 御中

被控訴人指定代理人

金 友 有理子

形 野 浩 平

和田谷 喜 洋

窪 田 公 樹

藤 原 寛 人

浅 野 優 介

砂 山 博 之

濱 岡 恭 平

水 谷 遥 香

村 上 岳

伊 集 浩 平

略語は準備書面の例による。

号証	標 目 (作成者等)	作 成	立 証 趣 旨 年月日
乙29	新訂ワークブック法制執 務第2版(抜粋) (法制執務研究会編)	写し	H30. 3. 30 法令における「項」は、「条」の 中の文章の段落を意味するもので あり、「条」及び「号」ほどの独 立性を有するものとは観念されて いないこと
乙30	注釈日本国憲法(2) (長谷部恭男編)	写し	H29. 1. 30 学説において、同性婚を保障しな いことが憲法24条1項に違反す るものではないと指摘されている こと等
乙31	GHQとの交渉と「3月 5日案」の作成 (国立国会図書館)	写し	R3. 11. 30 (ウェブ ページ印 刷日) 憲法24条1項の規定が成分化さ れるまでの過程においても、常に 「男女」又は「両性」という文言 が用いられており、一貫して性別 の異なる者同士の人的結合関係が 「婚姻」と表現されていること
乙32	憲法(上)〔新版〕(抜粋) (佐藤功)	写し	S58. 4. 25 憲法24条2項が、配偶者の選択 について定める法律は個人の尊厳 と両性の本質的平等に立脚して制 定されなければならないと規定す る意味は、婚姻は両性の合意のみ によって成立する旨の同条1項の

				規定と同義と解されていること
乙33	註釋親族法（上）（抜粹） （中川善之助）	写し	S27. 6. 25	伝統的に、婚姻は、生殖と密接に 結び付いて理解されてきたこと